



治療

外科手術

- ほとんどの卵巣がんに対する一次治療または根治療法
- 必ず婦人科腫瘍専門医が実施すること
- 手術の目標：
 - がんを取り除く
 - がんの病期を判定する
 - がんが転移していた場合、その場所と大きさを確認する
- 手術は次の2つのアプローチのいずれかにより実行する
 - 開腹（腹部を一か所切開する）
 - 腹腔鏡/ロボット（カメラと手術器具を備えた器具を挿入するために3つまたは4つの小さな切り込みを入れる）
- 手術は化学療法の前後のどちらでも行うことができる

標的療法

- がん細胞の特定または特有の特徴を標的とする薬剤
- 特定の臨床的状況で利用可能

免疫療法

- 免疫システムの活性を高めるように設計された薬
- 特定の臨床的状況で利用可能

ホルモン療法

- 体がホルモンを作るのを止めたり、ホルモンの作用を止めたりする薬
- 経口薬またはピル
- 通常、化学療法や手術後に投与される

化学療法

- がん細胞を殺すために開発された化学薬品
- 複数の経路で投与可能（例：静脈注射（intravenous, IV）、経口、腔内）
- 手術の有無にかかわらず投与可能
- 癌性腫瘍を縮小させるために、手術前に化学療法を行う場合があり、これはネオアジュバント化学療法と呼ばれる
- 手術後に行われる化学療法はアジュバントと呼ばれる
- 化学療法は、医師の指示により患者に投与する、確立された薬物療法である。一般に、静脈内投与または注射によって行われる。ただし、薬剤によっては、他の経路も可能
- サイクルとは、薬または薬の組み合わせが投与される回数である。例：患者は6サイクルの化学療法のうち2サイクル目を受けている
- 治療コースとは、化学療法の期間である。コースは、週または月、およびサイクルで表現される。例：患者は、A～B週間にわたってX薬を4サイクル、Y薬を4サイクル投与される

放射線治療

- がん細胞を殺すためにX線または他の種類のエネルギーを使用
- 通常、卵巣がんの治療には使用されない
- がんが体の他の部分（脳など）に転移している場合に症状を管理するために使用される可能性がある